鳥取市遠距離等通学費(小規模校転入制度)補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、鳥取市遠距離等通学費(小規模校転入制度)補助金(以下「本補助金」という。)の交付について、鳥取市補助金等交付規則(昭和42年鳥取市規則第11号。以下「規則」という。)に定めるもののほか、必要な事項について定めるものとする。

(交付目的)

第2条 本補助金は、小規模校転入制度を利用し、同制度による通学校(以下「特認校」という。)へバス若しくはJR又は自家用車により通学する、小学校、中学校及び義務教育学校の児童及び生徒(以下「児童生徒」という。)の保護者に対し、その通学費用を補助することにより、当該保護者の負担を軽減することを目的として交付する。

(補助対象者)

第3条 本補助金の交付の対象となる者は、小規模校転入制度利用者であって、自宅から特認校までの距離が小学校及び義務教育学校前期課程においては3キロメートル以上、中学校及び義務教育学校後期課程においては5キロメートル以上である児童生徒の保護者とする。

(補助対象経費)

第4条 本補助金の補助対象経費(以下「補助対象経費」という。)は、次に掲げるものとする。

- (1) 公共交通機関を利用する場合 バス又はJRで通学するための定期券の購入額とする。
- (2) 自家用車で通学する場合 自宅から特認校まで自家用車で通学するための当該自家用車の燃料代に相当する額とする。ただし、特認校へ通学した日のみを補助の対象とし、欠席日及びフリースクール、サポートルーム等の施設への通所日については補助の対象外とする。

(補助金の算定)

第5条 本補助金は、次の表に定めるところにより算定し、予算の範囲内で交付する。

区分	算定方法	摘要
前条第1号に掲げる場合	12月分を限度として児童生徒1人につき、定期券の購入額から別表に定める額(以下「自己負担額」という。)を控除して得た額	定期券の紛失、盗難等による再購入に対する再度の補助は認めない。
前条第2号に掲げる場合	1世帯につき、次の算式を適用して算出した額 ・{(自宅から特認校までの通学距離(km) × 16円 × 4回) - (自己負担額 ÷ 30)} × 特認校への通学日数	通学距離については、教育委員会で計測する最も効率的な距離とする。 同一の世帯内に2人以上の児童生徒がいる場合、児童生徒が1人でも通学した日については、補助対象日として算定する。 また、同一の世帯内に異なる学校種に通学する児童生徒がおり、その両

		<p>方が通学している日については、小学生及び義務教育学校1年生から6年生の通学日数として計上し、算定する。</p>
--	--	--

(交付申請等)

第6条 本補助金の交付を受けようとする者は、規則第4条の交付申請書を、公共交通機関を利用する場合は申請する期間の年度内に、自家用車を利用する場合は申請する期間の年度の10月末日及び3月末日までに、通学する特認校の校長（以下「学校長」という。）を通じ、市長に提出しなければならない。

2 規則第4条の申請書に添付すべき同条第1号及び第2号に規定する書類は、次に掲げるものとする。

(1) 公共交通機関を利用する場合 バス（JR）定期券購入事業計画書（様式第1号）。ただし、申請人の代理として、学校長が提出するものについては、バス（JR）定期券購入者集計表（様式第3号）の作成をもって、様式第1号に代えることができる。

(2) 自家用車を利用する場合 自家用車通学事業計画書（小規模校転入制度利用）（様式第2号）

3 規則第4条の申請書に添付すべき同条第4号に規定する書類は、自家用車通学実績報告書（様式第4号）とし、児童生徒に高校生その他これに準ずる者で教育委員会が認めるもの（以下「高校生等」という。）の兄又は姉がいる場合にあっては当該兄又は姉の在学証明書等とする。

4 本補助金の交付の申請事項に変更が生じた場合は、速やかに規則第9条の変更申請書を、市長に提出しなければならない。

(着手届の提出等)

第7条 規則第10条第1項第3号の市長が別に定める場合は、同項第1号又は第2号に規定する補助事業以外のすべての補助事業に係る場合とする。

(実績報告)

第8条 規則第12条の実績報告書に添付すべき同条第1号及び第2号に規定する書類は、自家用車を利用する場合においては、自家用車通学事業報告書（小規模校転入制度利用）（様式第2号）とする。

2 公共交通機関のみを利用する場合においては、規則12条のただし書の規定により実績報告を要しないものとする。

(学校長の責務)

第9条 学校長は次に掲げる書類を作成し、教育委員会へ提出することとする。

(1) バス（JR）定期券購入者集計表（様式第3号）

(2) 自家用車通学実績報告書（様式第4号）

2 学校長は、児童生徒の家庭状況に本補助金の交付決定の内容に影響を及ぼす変化があったときは、教育委員会へ報告しなければならない。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、本補助金について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

別表（第5条関係）

児童等の区分		第1子		第2子		第3子以降		
		児童	生徒	児童	生徒	児童	生徒	
定期券購入者 と自家用 車通学者の別	月数分	1月分	2,430円	4,860円	1,215円	2,430円	0円	0円
		複数月分	上記の額に購入した月数を乗じて得た額					
	端数分	1～10日間分	810円	1,620円	405円	810円	0円	0円
		11～20日間分	1,620円	3,240円	810円	1,620円	0円	0円
21日～1月間分		2,430円	4,860円	1,215円	2,430円	0円	0円	
自家用車通学者の負担額			2,430円	4,860円	1,215円	2,430円	0円	0円
備考								
<p>1 同一世帯に2人以上の児童生徒がいる場合、当該世帯内の年齢が最も高い児童等を第1子とし、その後年齢の高い順に第2子、第3子以降の子とする。ただし、当該世帯内に高校生等がいる場合、当該世帯内の年齢が最も高い高校生等を第1子とし、その後年齢の高い順に第2子、第3子以降の子とする。</p> <p>2 1月以上の通用期間がある定期券を購入し、当該通用期間に1月未満の端数日数が生じる場合は、当該端数日数に応じて端数分の額を加算するものとする。</p> <p>3 学校統廃合等の要因で通学方法が変更される際、新たにバス通学となる場合又は徒歩若しくは自転車通学が適当であるにも関わらず、地勢的等理由によりバス等の負担の生じる通学を余儀なくされる場合は、余儀なくされる要因が解消されるまでの適切な期間内において、第1子に係る負担額の2分の1を減免する。</p>								

様式第1号（第6条、第8条関係）

バス（JR）定期券購入事業計画（報告）書

通学先	小（中）学校					
通学児童(生徒)氏名			学年			
			学年			
			学年			
		通学児童(生徒)人数 計 (ア)		人		
乗車区間	自宅側	⇄		学校側	停留所(駅)	
			単価	片道	円	
定期券情報	通用期間	年 月 日～ 年 月 日		(イ) ヶ月(ウ) 日		
	金額	1枚あたりの金額	円	購入枚数	枚	
		購入金額合計		(エ)	円	
兄又は姉の有無 ※中学生・高校生等の兄又は姉を記入	番号	氏名			通学先	
	1					
	2					
	3					
	4					
		(中学生) 高校生等の兄又は姉の人数 計		(オ)	人	
月数に応じた負担額 (ア),(オ)の人数に応じて右表の該当欄に☑ 定期券購入月数に応じた負担額を算定	(表)	(ア)	0人	1人	2人以上	
	(ア)	1人	□ 円	□ 円	□ 円	
		2人以上	□ 円	□ 円	□ 円	
「1ヶ月の負担額」×「(イ)ヶ月」＝「(カ)月数に応じた負担額」 () 円×() ヶ月＝(カ) 円						
自己負担額 端数の負担額 (ウ)の日数及び(ア),(オ)の人数に応じて右表の該当欄に☑	(表)	端数定期の日数	(ア)	0人	1人	2人以上
	1～	1人	□ 円	□ 円	□ 円	
	10日	2人以上	□ 円	□ 円	□ 円	
	11～	1人	□ 円	□ 円	□ 円	
	20日	2人以上	□ 円	□ 円	□ 円	
	21～	1人	□ 円	□ 円	□ 円	
	30日	2人以上	□ 円	□ 円	□ 円	
合計	「(カ)月数に応じた負担額」+「端数の負担額」＝「(キ)自己負担額」 () 円+ () 円＝(キ) 円					
補助金額	「(エ)定期券購入額」-「(キ)自己負担額」＝「(ク)補助金額」 () 円- () 円＝(ク) 円					
添付書類	☑					

様式第2号（第6条、第8条関係）

自家用車通学事業計画（報告）書（小規模校転入制度利用）

通学先		小学校																
		中学校																
特認校への通学日数		小学校及び中学校	(A) 日															
		小学校のみ	(B) 日															
		中学校のみ	(C) 日															
通学児童生徒氏名		小・中	学年															
		小・中	学年															
		小・中	学年															
		小・中	学年															
		小学生 計	(ア) 人															
		中学生 計	(イ) 人															
通学距離		自宅から小学校までの通学距離	(ウ) km															
		自宅から中学校までの通学距離	(エ) km															
兄弟の有無 ※中・高校生等の兄又は姉 を記入		番号	氏名															
		1																
		2																
		3																
		4																
		兄又は姉の人数 計		(オ) 人														
		中学生・高校生等の人数 {(イ)+(オ)}		(カ) 人														
通学費単価	(1)小学生の通学費単価	$\frac{\text{「(ウ)通学距離」} \times \text{「1kmあたりのガソリン代」} \times 4 \text{回}}{\text{()km} \times 16 \text{円} \times 4 \text{回}} = \frac{\text{「(キ)小学生通学費単価」}}{\text{(キ) 円}}$																
	(2)中学生の通学費単価	$\frac{\text{「(エ)通学距離」} \times \text{「1kmあたりのガソリン代」} \times 4 \text{回}}{\text{()km} \times 16 \text{円} \times 4 \text{回}} = \frac{\text{「(ク)中学生通学費単価」}}{\text{(ク) 円}}$																
自己負担額	(1)小学生の負担額 ・(ア),(カ)の人数に応じて右表の概要欄に☑	<table border="1"> <tr> <td>(表)</td> <td>(ア) (カ)</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>2人以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1人</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2人以上</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table>	(表)	(ア) (カ)	0人	1人	2人以上		1人	☐	☐	☐		2人以上	☐	☐	☐	$\frac{\text{「1ヶ月の負担額」}}{30 \text{日}} = \frac{\text{「(ケ)1日あたりの小学生負担額」}}{\text{()円} \div 30 \text{日}} = \text{(ケ) 円}$
	(表)	(ア) (カ)	0人	1人	2人以上													
	1人	☐	☐	☐														
	2人以上	☐	☐	☐														
(2)中学生の負担額 ・(イ),(オ)の人数に応じて右表の概要欄に☑	<table border="1"> <tr> <td>(表)</td> <td>(イ) (オ)</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>2人以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1人</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2人以上</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </table>	(表)	(イ) (オ)	0人	1人	2人以上		1人	☐	☐	☐		2人以上	☐	☐	☐	$\frac{\text{「1ヶ月の負担額」}}{30 \text{日}} = \frac{\text{「(コ)1日あたりの中学生負担額」}}{\text{()円} \div 30 \text{日}} = \text{(コ) 円}$	
(表)	(イ) (オ)	0人	1人	2人以上														
	1人	☐	☐	☐														
	2人以上	☐	☐	☐														
優先適用		小学生 ・ 中学生																
補助金額	(1)小学生の補助金額	$\text{「(キ)小学生通学費単価」} - \text{「(ケ)1日あたりの小学生負担額」} = \text{「(サ)小学生補助金額単価」}$																
		$\text{()円} - \text{()円} = \text{(サ) 円}$																
	$\text{「(サ)小学生補助金額単価」} \times \text{「()通学日数」} = \text{「(シ)小学生補助金額」}$																	
	$\text{()円} \times \text{()日} = \text{(シ)小学生補助金額}$																	
	(2)中学生の補助金額	$\text{「(ク)中学生通学費単価」} - \text{「(コ)1日あたりの中学生負担額」} = \text{「(ス)中学生補助金額単価」}$																
		$\text{()円} - \text{()円} = \text{(ス) 円}$																
$\text{「(ス)中学生補助金額単価」} \times \text{「()通学日数」} = \text{「(セ)中学生補助金額」}$																		
$\text{()円} \times \text{()日} = \text{(セ)中学生補助金額}$																		
(3)補助金額合計	$\text{「(シ)小学生補助金額」} + \text{「(セ)中学生補助金額」} = \text{「(ソ)補助金額合計」}$																	
$\text{()円} + \text{()円} = \text{(ソ) 円}$																		
添付書類 ☒		☐ 在学証明書																

様式第3号 (第6条、第9条関係)

バス (JR) 定期券購入者集計表

No.	学年	児童生徒 氏名	フリガナ	取引 コード	保護者氏名	住所	停留所 (駅)		第何子	単価	定期券		補助金 請求額	引換 場所	取引済 ㊦	通用 期間
							自宅側	学校側			定価	販売額				
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合計																